

国の第二次補正予算の成立について

本日、国の第二次補正予算が成立した。東日本大震災からの当面の復旧対策に万全を期するため、総額2兆円規模の予算となっている。

全国知事会は、東日本大震災の発生以降、緊急広域災害対策本部を設置し、被災地の復旧のための物的、人的支援を進めるとともに、先の全国知事会議では「日本の再生に向けて—東日本大震災 復興への提言—」を取りまとめ政府に提案するなど、復興へ向けての取り組みを進めている。

国難ともいえる今回の事態を乗り越えて日本の再生を果たすためには、国と地方が総力を結集して取り組むことが何より重要である。多くの国民が復興への取り組みの遅れに対して深い懸念を抱いている現在、今回の補正予算の成立にとどまらず、今後の復興フレームの作成を含め、被災者の目線に立ち、かつ、スピード感を持ったさらなる復興に向けた取り組みを求める。

また、今回の補正予算には、被災者生活再建支援制度について、東日本大震災に関して現行制度を上回る財政措置が盛り込まれており、被災者の生活再建を一層進展させるものと評価できる。なお、この制度は相互扶助の精神に基づき全都道府県からの拠出により運営されていることから、すべての都道府県に特段の財政措置が講じられるよう求める。

平成23年7月25日

全国知事会

会長 山田 啓二